

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	当院の切迫早産例における、ウレアプラズマ感染と早産の関連性について
研究責任者	高宮万莉
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	腔内ウレアプラズマ感染は早産の原因となる可能性が指摘されています。 当院では、2019年4月から腔内ウレアプラズマ感染の検査が開始されており、主に切迫早産の方へ検査を行っています。 今回、当院での分娩統計を用いて腔内ウレアプラズマ感染の有無と早産の関連性について研究を行い、ウレアプラズマ感染に対する望ましい周産期管理を明らかにし周産期医療の向上に寄与することを目的としています。
研究方法	【研究の方法】 対象は、2019年4月～2021年7月の間に腔内ウレアプラズマの検査を行った単胎妊娠の妊婦の方です。 診療録の記載をもとに、分娩日数や母体合併症、前期破水の有無などを収集し、後方視的に研究を行います。 【個人情報の保護】 個人情報の保護に十分配慮したうえで行います。個人が特定されないよう匿名化を行うことで、誰のデータか分からないようにし、統計解析を行います。 【研究結果の公表】 研究の成果は、学会や論文に公表されることがあります。 研究に組み入れられることを希望されない方は、下記の問い合わせ先にお知らせください。その場合、データ収集や統計解析は致しません。 研究に同意されない場合であっても、不利益を被ることはございません。

問い合わせ先	日本赤十字社医療センター産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：高宮 万莉 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604
--------	---